

情報通信行政・郵政行政審議会 電気通信事業部会

電気通信番号委員会（第7回）議事録

**1 日 時**

平成29年6月27日（火） 14時27分～15時20分

**2 場 所**

総務省 10階 共用10階会議室

**3 出席者**

（1）構成員

相田専門委員（主査）、一井専門委員、河村専門委員、猿渡専門委員、藤井委員

（2）総務省

巻口電気通信事業部長、荻原電気通信技術システム課長、廣重番号企画室長、  
神田番号企画室課長補佐

**4 議 題**

（1）主査代理の指名

（2）電気通信番号規則等の一部改正について

（3）M2M等専用番号の導入に向けた準備状況

（4）その他

## 5 模様

### 開会、配布資料の確認

【相田主査】 それでは、定刻よりやや早いようですけれども、ご出席予定の方は皆さんお揃いになったということで、ただいまから情報通信行政・郵政行政審議会電気通信事業部会電気通信番号委員会の第7回会合を開催させていただきます。本日は皆様、お忙しいところをお集まりいただきまして、ありがとうございます。

それでは、最初に事務局から配付資料の確認をお願いいたします。

【神田番号企画室課長補佐】 議事次第のとおり、資料は7-1から7-3でございます。配付資料は以上でございます。過不足等ございましたら、事務局へお申し付けください。

大丈夫でしょうか。

【相田主査】 よろしゅうございますか。

### 議題(1) 主査代理の指名

【相田主査】 それでは、お手元に構成員一覧ということで資料7-1がございますけれども、4月に情報通信行政・郵政行政審議会委員の任命が行われ、6月23日に開催された電気通信事業部会におきまして、当委員会の主査には私、相田が指名されましたので、どうぞよろしくをお願いいたします。

また、今回の任命に伴い、新たに本委員会に所属することになった委員の方々もおられますので、委員の皆様簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。座席の順ということで、一井委員からお願いいたします。

【一井委員】 一井と申します。インターネットやコンピュータネットワークの技術や運用、管理というのを主にやっております。この電気通信番号の委員会を長いことさせていただいているのですけれども、番号は簡単なようでいろいろと考えないといけないことがたくさんあって、勉強しながら務めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

【河村委員】 消費者団体の主婦連合会の事務局長、河村でございます。私も、そんなに長くはないですけれども、電話番号の関係の委員会には消費者代表として結構いろいろ出てきまして、番号の世界の深さみたいなものを興味深く拝見しているところでございます。よろしくをお願いいたします。

【猿渡委員】 大阪大学の猿渡と申します。学生のころから、センサーネットワークという、ここでいうM2Mに関係する研究をずっとやってきていまして、その意味でもセンサーデバイスに電話番号がつくというのは非常に感動している次第です。精いっぱい頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。

【藤井委員】 電気通信大学の藤井と申します。私、専門は無線通信です。いろいろ勉強させていただいています。

今回の就任に当たって、いろいろとご説明をいただいて、かなり奥深さを感じていまして、今日の審議もその一部だと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【相田主査】 事務局のほう、よろしいですか。

【巻口電気通信事業部長】 電気通信事業部長の巻口でございます。よろしくお願いいたします。

【荻原電気通信技術システム課長】 電気通信技術システム課長の荻原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

【廣重番号企画室長】 番号企画室長の廣重でございます。よろしくお願いいたします。

【神田番号企画室課長補佐】 番号企画室課長補佐の神田と申します。よろしくお願いいたします。

【相田主査】 どうぞよろしくお願いいたします。

あと、名簿にもございますように、池田委員、三友委員がおいでになりますけれども、本日は所用のため欠席と伺っております。

ただいまもございましたように、昨今ですとメールですとかLINEというようなことでもって、昔ながらの電気通信番号の、いわゆる電話番号の重要性は少し減ってきているかなと思われる一方で、それを裏に支える、携帯電話ですとIMS Iとかも一応当委員会の管轄ということでございまして、サービスの内容によっては電話番号がないとサービスできない、というか電気通信番号がないとサービスできないというような内容もございしますので、まだまだ、過去の経緯等々でいろいろわかりにくいところもあるかと思っておりますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入らせていただきます。最初が主査代理の指名ということで、先ほどの資料7-1にはまだ記入していないところでございますけれども、委員会における調査を進めるに当たりまして、主査を補佐するためということでもって主査代理を置くことができることになっております。主査代理は情報通信行政・郵政行政審議会電気通信事業部

会決定第4号の2の4の規定により、主査が指名するということになっておりますので、私から、主査代理として三友委員にお願いしたいと思っております。本日、三友委員は欠席でございますけれども、主査代理の承認につきましては内諾いただいておりますので、お認めいただきたいと思っておりますが、よろしゅうございますか。

ありがとうございました。

#### 議題(2) 電気通信番号規則等の一部改正について

【相田主査】 では、続きまして、2番目の議題といたしまして、電気通信番号規則等の一部改正についてでございます。6月23日、総務大臣から情報通信行政・郵政行政審議会に対してFMC等専用番号の移行に係る電気通信番号規則等の一部改正について諮問がございました。つきましては、諮問の内容につきまして事務局から説明をお願いいたします。

【廣重番号企画室長】 それでは、資料7-2、電気通信番号規則等の一部改正についてという資料に基づきまして説明を申し上げます。

1枚めくっていただきまして、1ページ目ですけれども、背景といたしまして、平成27年12月、電気通信審議会の答申におきまして、使われていないFMC等専用番号、060番号帯につきまして、将来的に携帯電話の番号として使用することを見据えて留保することが適当とご指摘がありました。これを踏まえまして、060番号帯を留保するよう措置を検討したものでございます。

下の、改正の概要ですけれども、電気通信番号規則、いわゆる電話番号の規則を定める省令ですけれども、これを改正したいと考えております。FMC等専用番号として、060番号帯、060で始まる11桁の番号、正確に言いますと0601から0609までの番号帯ですが、これを0600番号帯、4桁目をゼロに固定する番号帯、0600番号帯へ移行したいというものであります。

番号規則の改正に伴いまして、ユニバーサルサービスに関する負担金の徴収の対象を定めております基礎的電気通信役務の提供に係る交付金及び負担金算定等規則、それから電話番号の報告、使用状況の報告を求めています電気通信事業報告規則、これらにつきましても改正を行いたいと考えております。施行期日ですが、公布の日から施行したいと考えております。

2ページ目にまいりまして、ではFMCとは何かというものでございます。概要のとこ

ろにあります。複数のネットワークを組み合わせることによりまして、1番号、1コールで音声通話サービスの提供をするというものでございます。

下のネットワークのイメージを見ていただきますと、移動と固定とがあります。移動については通常、携帯電話番号、070などの電話番号が付されていると。一方で、固定につきましては0ABJ番号というものが付されていると。通常ですとこの電話番号でネットワークを識別するのですけれども、移動と固定を同じ番号で発着信したい、移動と固定を意識することなく通話をしたいというニーズが、そのFMC番号であります。専用番号といたしましては060という番号を定められております。一方で携帯電話番号の070等、あるいはIP電話の番号であります050につきましても、基本はそれぞれの番号なのですけれども、FMCサービスとして流用といたしますか、併用ができるという形になっております。なので、FMCサービスを実際にやりたいという事業者があらわれますと、選択肢といたしましては、060という専用番号を使うのか、もしくは既存の070、あるいは050を使うという選択可能な状況になってございます。10年前の平成19年にFMCサービスの番号が決められ、当時はかなりはやるであろうと思われていたのですが、実際に携帯電話が普及しておりますので、現時点においてFMC等専用番号の060を使っている事業者はいないという状況です。ただ、いないと申し上げましたけれども、ここに来て実際にこの専用番号を使いたいという事業者があらわれましたので、この制度について検討をする必要があるということでもあります。

めくっていただきまして、携帯電話を含みます0A0番号帯の状況でございます。左側のページを見ていただきますと、0A0番号帯を010から090まで縦に並べております。下から4番目の060がFMC等サービスということで、番号容量9,000万を割り当てておりますが、今現在は未指定、全く使われていないという状況です。

その下の070、080、090につきましては、これは携帯電話として、今、使われております。右側のグラフが携帯電話の番号数の在庫になります。総務省の手元にある未指定分の番号、いわゆる在庫ですけれども、この番号がどんどん減少しているという状況にあります。既に080、090は全て事業者の手に渡っていると。総務省の手にありますのが070、平成29年3月でいいますと2,590万番号が残されるのみとなっております。大体、年1,000万番号のペースで減少を続けているというものです。

他方で、この緑色のグラフにありますけれども、今年になりまして020というM2M専用番号、機械向けの専用番号をつくりましたので、実際にこの緑色の部分が、今後減っ

ていくことも期待されると。そうなりますと、このオレンジのグラフも減り方はかなり緩やかになるものと期待されますが、いずれにいたしましても、数年後には枯渇のおそれがあるというものであります。

めくっていただきまして4ページ目、0A0番号帯の用途を可視化したものであります。上3桁を010から090まで上から下に並べて、4桁目の数字を0から9まで左から右に並べたものです。このマトリクスの1つのセルが、1,000万番号の容量を持つ番号空間になっております。この下から4番目の、060番号帯の4桁目、1から9までがFMCサービス等ということに今定められておりますが、これを移行させて、この赤枠のところ、0600帯、1,000万番号の枠に閉じ込めたいというものであります。

移行後ですけれども、FMCサービス等と今書いてあるこの枠は、用途を定めない、この図でいいますと真っ白な状態に置いておくと。そして数年後、いつになるかまだわかりませんが、数年後に携帯電話番号が不足するという事態になりますと、この空いた部分を携帯電話番号向けに使っていかうというものでございます。

めくっていただきまして、5ページ目です。赤枠で0600番号帯の候補としておりますが、ほかにも考えられる移行先がございます。それを並べたものです。上から、0600番号帯、それから0500番号帯、あと、番号帯が違いますが、0AB0番号帯というものもございます。あと、0AB0帯の一部であります。0610、あるいはいつそのこと専用番号を廃止したらどうかというものでございます。

それで、この利害得失がありますけれども、ここで考えましたのは、まず番号容量の観点です。参考にして書いてありますが、過去、NTTコミュニケーションズが060番号を使ったときに104万番号を実際に使ったという実績があります。実際にユーザーがついたというものです。果たして、今後ここまでいくのかという議論はあるかもしれませんが、これを一つの手かがりにいたしますと、やはり容量として100万以下であるとちょっと不足するというので、1,000万番号の容量が欲しいとなりますと、0600か0500ということになります。

あとは、この両者の比較ですけれども、移行前、0600につきましては、060の横にずらすということで非常に移行がわかりやすいということ、それから将来、仮に0601から0609を携帯番号向けに開放した場合には誤認のおそれが出てくるであろうというものです。ただ、現時点においては、これはないという、あくまで将来の話です。

一方、0500ですけれども、この上3桁の050につきましては、IP電話番号とし

で今使われております。一部の古い交換機になりますけれども、上から3桁目まで読んで050ということで、IP電話固有の処理、固有のルーティングでありますとか固有の課金処理ということ、今、実際に交換機が行っております。したがって、そのプログラムの改修、ネットワークの改修等々に余分なコストがかかるということで、050につきましては、ほかの番号帯に比べると改修コストが余分にかかるというデメリットがあります。それから、移行させるとなると直後からIP電話との誤認のおそれが発生するであろうということから考えますと、0600が一番適当ではないかと考えております。

めくっていただきまして、6ページ目です。ここで誤認と申し上げましたけれども、一応、誤認を考える上で、携帯電話番号とIP電話番号、それからFMC等専用番号というこの3つの番号の特性を横に並べたものであります。ネットワークの識別性でありますとか、音声品質というものはそれぞれまちまちです。一方、緊急通報でありますとか番号ポータビリティというものについては、FMC等専用番号はどちらかというIP電話と親和性が高いであろうと。他方で通話料金となりますと、携帯電話番号は通話料金が比較的高く、IP電話番号は比較的低いと。FMC等専用番号は、今決まっているわけではありませんが、未定です。仮に誤認という話になりますと、料金を全く知らない第三者がかけたときに、高いと思ってかけて、実際には安いということであればそれほど問題はないけれども、IP電話と誤認されて、安いと思ってかけて、実際には高い請求書が回ってくるというのは、あまりよろしくないことになるのではないかと考えております。

めくっていただきまして、7ページ目。これはご参考で、移行先の番号帯の候補にも書きましたけれども、0AB0番号帯というものも論理的には候補になります。この0AB0番号帯の空き状況について二次元で可視化したものであります。で、2桁目のAというものを0から9まで上から下に並べたもので、3桁目のBという数字を左から右に0から9まで並べたものです。ここで見ますと、0AB0帯、サービス向けの番号ではありますけれども、いわゆる0ABJ番号、市外局番の番号もここに一部浸食されているというか、食い込んでいる状況になっています。そうは言っても、空きが全くないわけではありませんで、この番号1マスが100万番号ということになります。一番左、Bの数字が0のところは0A00番号帯ということで、ここに赤枠の0600番号帯が出てきます。この列だけ合計11桁、1マス1,000万番号となっております。

めくっていただきまして、8ページ目です。一昨年の情報通信審議会の答申を抜粋したものです。そこで記述されておりますのは、060番号帯につきましては未使用となって

いるため、利用動向を踏まえつつ、将来的に携帯電話番号として使用することも見据えて留保しておくことが適当と記述されておりますので、今回の改正内容はこの答申に沿った内容だと理解しております。

次のページ以降は、実際の省令の改正案です。番号帯を個別具体的に一覧表の形で省令に記述しておりまして、その番号帯の数字を細かく改正をしていったものでございます。中身は省略をさせていただきます。

説明は以上です。

**【相田主査】** ありがとうございます。本件につきましては、本日結論を出していただくということではなく、意見募集が7月24日までということで現在行われておりますので、当該意見募集の終了後、その提出された意見を踏まえて当委員会として判断をするということになっておりますので、本日はフリーの意見交換ということにさせていただければと思います。

ただいまご説明ございましたように、今、制度的には矛盾した状況というのでしょうか、そうなっておりまして、番号に関する制度を検討する番号政策委員会のほうで、060は携帯が足りなくなったときに備えて空けておけという答申をいただいたにもかかわらず、従来どおりFMC用の番号として割り当てられていて、かつ、今回そこを割り当ててほしいという事業者が出てきて、どう対処するかということで諮問された内容ということでございます。自由にご意見をいただければと思いますが、いかがでございましょうか。

私から、ちょっと。NTTコムが割り当ててもらったというのは、FMCになってからだったのですたっけ。

**【廣重番号企画室長】** FMCの前です。

**【相田主査】** 前からですね。実は、この060番号帯は、FMCになる前にUPT、ユニバーサルパーソナルテレフォンというものでもって、固定電話ー固定電話間で近くにある電話機の手話器を持ち上げて、1ペケペケ、何とかかんとかとダイヤルをして、060番号を、私、ここにいるよということを登録すると、それ以降、その060番号に電話がかかってくると、手元に登録した電話のベルが鳴るという、固定ー固定間のユニバーサルパーソナルテレフォン、UPTサービスというものをNTTコミュニケーションズが提供するというので、これにはもう、ほかの番号帯はないということで、その番号を割り当ててサービスをはじめたところ、その後、固定と携帯との間でもって一つの番号で、固定網にいるときには固定網に、移動網にいるときには携帯にかかってくるよというサ

ービスが始まったときに、U P Tに使っていた番号がそれほど多くなくて、空きがあったということと、類似のサービスであるということで、F M Cとしてもこの番号帯を使っている。ただ、逆に携帯電話事業者がF M Cサービスをやる時には、既にお持ちの携帯電話の番号のほうでやってもいいよということで、平成19年に制度を定めましたところ、結果的に、ここにも上がっていますN T Tドコモ等は携帯電話のほうの番号を使ってF M Cサービスをされた。それから、固定ー固定間のU P Tサービスは、その後ユーザーが少なくなってN T Tコミュニケーションズはやめてしまったということで、結果的に現在は060番号でF M Cサービス、あるいはU P Tサービスをやっている事業者がないのですけれども、何年ぶりかで、また060を使ってF M Cをやりたいという希望が出てきたということのようでございます。

【藤井委員】 質問いいですか。今出てきている新たな事業者というのは、やはり携帯電話とI P電話でこれをやりたいと考えていると思っいいのですか。

【廣重番号企画室長】 詳しくは聞いていないのですが、おそらく携帯とI Pだと考えております。

【藤井委員】 わかりました。あと、これは6ページのところに、緊急通報機能というのが違くと書いてあるのですが、これはそういうふうな携帯と2つのネットワークのときに、携帯から発信するときは携帯の番号で緊急通報は動くと考えてよろしいのですよね。あくまで着信のほうの番号の問題なのかどうかというところが。

【廣重番号企画室長】 つくり方によると思います。制度的には任意ですので、必ずやる必要はありません。あとは実態上できるかどうか、そのシステムがあるか、その上で動くかどうかです。

【藤井委員】 というところ。

【廣重番号企画室長】 ええ。通常ですとネットワークにそれほど手をかけないので、可能になるかもしれませんが、逆に、若干ルーティングを、特殊な処理を入れていると、携帯電話の優先扱い等々の、あるいは位置情報の処理というようなものも入ってきますので、そういうものを邪魔するような処理が入っているのであれば、できなくなるおそれがあります。

【藤井委員】 これは、発信側からもそういう緊急通報をしようとしたときに、この番号を持っていると別なところに行ってしまう可能性があるということですかね。

【廣重番号企画室長】 要するに、110番にかからない場合があるということです。

【藤井委員】 110番にかからないということですね。そういうことですね。

【相田主査】 このFMC専用番号は、もちろん、サービスのつくりによるんですけども、おそらくは着信用の番号ということで、そこから発信する場合は、緊急通報にかかわらず、その電話にもともとついていた番号のほうが発番号として出ていくのであろうなと思います。携帯から発信するときには携帯の番号、固定から発信するときは固定の番号が発番号として出て行くのだらうなと思います。もちろん、そうでないようなつくりをやると思えばできるのですけれども、かなり大変なつくり込みになりますから。だから、こういう携帯PSTN間であればそれぞれの持っている緊急通報発信機能でかけられるのですけれども、特にIP電話から発信する場合については、IP電話からの緊急通報というのはしていないので、この060番号でIP電話に着信するようなモードになっているときに、そこから発信すると多分緊急通報はかけられない状態になっているかなと。

【藤井委員】 基本は着信に使うので、ほぼ問題は出ないだろうというのが今の状況ですよね、おそらく。

【相田主査】 まあ、そうですね。だから逆に0600でやってくれば、0600という番号自体は緊急通報の義務はない番号ということになると思うので、あまり問題はないと思いますけれども。

【一井委員】 この容量についてなんですけれども、業者の事業計画みたいなものはまだないのですよね。

【廣重番号企画室長】 まだ具体的な申請を受けたわけではないので、ええ。

【一井委員】 そうですよ。

【廣重番号企画室長】 ただ、容量をどこまで用意するかというのは、これはもう判断になりますが、一つお示ししたのは、先ほど申し上げたようにNTTコミュニケーションズの、104万いきましたと。あと、もう一つ懸念されるのは、仮に番号がある程度はやるとか、FMCがはやるかどうかかわからないですけれども、はやり始めると、100万番号だとなかなかきつくなるのではないかと。特に0120のようなフリーダイヤルの番号の取り合いみたいなものも実際起こっていますので、大は小を兼ねるではないですけども、1,000万番号はあったほうが制度的には安心かなと考えております。

【一井委員】 携帯の070が枯渇して、あまり先のことを考えてもしょうがないかもしれないですけども、060に進出することがもしあるとすると、FMCのサービスがスタートする状況と兼ね合いによっては非常によくわからない状況になってしまうかなとい

う気がするのですけれども、大分性質の違うものなので、誤認ということは、やはり可能性としてはあると思いますね。

【廣重番号企画室長】 4ページ目を見ていただくと、実は、0800のところと似たような状況になっております。どこに引っ越しさせるかというのは、これはなかなか判断が難しいところではあるのですけれども、どこに行っても誤認をしてしまうおそれがあります。

あと、一昨年の答申に書かれておりますのは、0700と0900は留保しなさいということで、今回は除かれるであろうと。あと、考えましたのは、そうしますと、上から見ると0200、M2Mの区画。ただ、M2Mは機械向けで、人間用の番号はここに置くのはよろしくないと考えましたので、実際は050か060の二者択一になるのかなと考えたところです。

ちなみに、030と040は、これは丸々空けておくということで問題ないと思っています。

【猿渡委員】 質問いいですか。このFMCのサービスをやりたいというときに、移動の番号であればFMCサービスをやってもいいわけですよ。その業者に移動の番号を与えてFMCをやりなさいというのは不可能な話なのですかね。

【廣重番号企画室長】 現在、移動体通信、携帯電話番号の指定要件として、基地局を持っていなさいと。要するに、電波の周波数免許を持っていなさいという条件がありますので、これはなかなかクリアするのは、事実上、新規参入事業者にはハードルがかなり高いと思います。

【猿渡委員】 すみません、もう1点。技術屋としては、アドレスが足りないのだったら拡張すればいいのではないのかと思うのですけれども、それは相当大変だから、こうやって移動するという議論になっているという理解でいいのですか。

【廣重番号企画室長】 私の理解では、まず拡張するに際して機械の面でコストがかかると。あと、人間のメモリーも有限ですので、あまり拡張するのは……。むしろ、人間が覚え直すほうが大変なものを感じます。

【相田主査】 あと、さっきの比較表のところでもって、0500だとネットワーク改修等の費用が高額になるおそれということで、やんわりした書き方になってはいますが、要するに、一応、今、使われていないとはいえ、060から始まる11桁ということで、FMCサービスできるように大体交換機はreadyになっているので、そこをちょっと横

にずらして0600でということだとすると、テーブル設定プラスアルファ程度で期間もお金も比較的安く済むであろうということに対して、例えば、0500でやりなさいとか、もっと違う0130みたいなものでやりなさいというと、全国津々浦々にある交換機のソフトを入れかえなければいけなくなって、お金と時間がかかるということで、今やりたいと言っている事業者さんの、まあ営業妨害とまでは言わないですけども、そういうことになりかねないというところがあって、現在、060で始まる11桁であれば一応極端な話、番号さえ割り当てればすぐにでもサービスインできるということとの関係というのは、ある程度はやっぱり考慮してあげないといけないのかなというところかと思います。

**【猿渡委員】** ありがとうございます。

**【相田主査】** ほかに、いかがでございましょうか。

河村委員は、よろしいですか。

**【河村委員】** はい。いいのではないですかという感じなのですが、でも、060の、0601から9までですか、将来また足りなくなったときにどこに行くのだろうと考えると、何か、ここ一列残しておくのもきれいかなという気がして。お金がかかると書いてある0500というの、私の目から見ると、いいのかなとは思いますが、ネットワークの改修等にかかるコストが高額な可能性というぐらいのところでしょうか。IP電話との誤認というのがどの程度の問題か。もともと、固定とか移動とかどちらもあるのですよね。だからそれを考えると、単に表のきれいさから見るとそれもあり、何か行き先がなくなってしまっているのではないかなということは思いますけれども、それぐらいですね。そもそも0600でいいのではないかなという意見ではあります。

**【相田主査】** 今の件について、何か事務局でお考えはございますか。

**【廣重番号企画室長】** 誤認というところで、IP電話の050をどういうふうに実態上売っているかというところなのですけども、頭が050であればIP電話です。0500はFMCというのは当然ながら特に言っていないので、050であればすべからずIP電話ですというのは、大体、宣伝として事業者はホームページに掲載しています。かつ、050同士であれば月幾らの固定費をかければ通話料は無料ですというふうに、少なくともホームページ上で今は書いていますので、それを全部書き直してもらう必要があります。つまり、0500がちょっと特別なのです。ここでは、0501から0509までのものをIP電話とって、IP電話同士では通話料は無料ですという書き直しをしていただく必要が出てきます。

【河村委員】 0600の場合でも、将来、携帯電話に変え始めたら同じことが起きるということ。

【廣重番号企画室長】 おっしゃるとおりです。

【河村委員】 いつ起きるかなと。

【廣重番号企画室長】 いつ起きるか、直ちにではないと。

【藤井委員】 0600でいいと思うのですが、0600という、このセットでちゃんとコマースシャルしてくださいとか、そういうのは周知したほうがいいかなと思いますね。

【相田主査】 そうですね。0601から9までは、この後、他の用途に使われることもありますので、番号の書き方として、ちゃんと0600と書いてくださいということはお願ひしたいと思います。

ほかにいかがでございましょうか。

【一井委員】 せっきくサービスを始めるのであれば、ちゃんとサービスして、ちゃんと伸びて、もうかるようにしてほしいなという気持ちもありますからね、やっぱり。その辺はしっかりやった上で、ちゃんと事業をしてほしいなという気がします。

【相田主査】 よろしゅうございますか。

それでは、この件につきましては、先ほども申し上げましたように現在意見募集が行われているということで、当該意見募集終了後に提出された意見を踏まえて、改めて内容について、この委員会で検討を行いたいと思います。

### (3) M2M等専用番号の導入に向けた準備状況

【相田主査】 では続きまして、もう一つ。M2M専用番号の導入に向けた準備状況ということにつきまして、昨年の当委員会での調査検討及び電気通信事業部会での審議を経て関係法令の整備が行われたところですので、事務局からご報告をお願いいたします。

【廣重番号企画室長】 それでは、資料7-3、報告、M2M等専用番号の導入に向けた準備状況という資料に基づきまして説明させていただきます。

1枚おめくりいただきまして、1ページ目、M2M等専用番号の概要ですけれども、前体制で番号委員会でもご議論いただきましたが、その結果、制度として立ち上がったものです。繰り返しになりますが、概要といたしましてはデータ通信を中心とした携帯電話サービスの急速な需要拡大と、それから番号の枯渇と、もう一つ、M2Mの特性に対応した専用の番号ということで020番号を創設いたしました。

対象とするサービスですけれども、主としてデータ通信です。SMSにつきましては機械との送受信を行うもののみで、人間のコミュニケーションには使ってはいけませんというもの。それから、音声につきましては通話先が限定され、かつ利用者が番号を認識できないもののみ対象というふうに制約がついております。基本的に音声を使う場合は090ないしは080、070と。機械同士のデータ通信については020という性格分けの結果です。

指定要件等ですけれども、使いやすい、いわゆる要件の軽い番号にしてあります。緊急通報番号ポータビリティについては義務の対象外。それから、ユニバーサルサービスに係る負担金についても、はなはだ特殊ではありますが、この番号についてだけは免除されているということです。他方で、第一種指定設備と接続しない、つまりNTT東西とは音声通話は絶対にできませんよという指定要件が定められております。

スケジュールですけれども、今年1月に制度が施行になりました。その後、3月から5月にかけて、携帯電話事業者4社、KDDI系の沖縄セルラーがありますのでキャリアが4社になりますけれども、これに全て番号を指定いたしました。初回の指定としましては合計で1,640万番号を指定済みです。今後ですけれども、8月までにかけて各事業者が設備の改修等を行います。9月までに接続等の試験を行うということで、この試験の中には、SMSの事業者間の相互接続の試験というのも入っております。

その後、10月を予定しておりますが、実際の使用開始を計画しております。

次の2ページ目ですけれども、020番号が何に使われるのかということで、現時点の見込みを聞き取りの結果まとめたものです。これは昨年の制度検討の際にも出した資料ですけれども、それをアップデートしたものとお考えいただければと思います。

サービスの内容というものを左側、パケットのみ、パケットプラスSMS、パケットプラスSMS音声という3つに区分してあります。それからMNOユーザー向けとMVNOユーザー向けを大きく2つに分けて、さらにその中でもM2M専用のものとそうでないものを分けたものです。

では、020がどこの部分に入るかといいますと、基本パケットのみ、データ通信のみというのが020に置きかわっていくと。SMSにつきましては通信モジュール向けのコマンドというか命令を送る際に使われますけれども、これについてもM2M専用であればSMS付きのサービスを行うというものです。MNO自身はSMSを使いますが、MVNOにつきましても、これは一部の事業者ですけれども、一部のMVNOは自社ユーザー向

けにSMSサービスを提供するというものです。逆に音声につきましては、制度的に枠はとってありますけれども、実際に現時点において音声サービスをやるというふうに確定した事業者はまだありません。現在、特にカーテレマティクス等々になるのかもしれませんが、具体的な検討を行っている事業者はありますけれども、現在検討を行っている段階ということで、具体的にいつから開始するかということはまだ見えていない状況です。

この用途につきましては、使用の開始がされた月、あるいはその開始12カ月後に用途を報告してくださいという条件を指定の際につけておりますので、今後アップデートしていきたいと思っております。

要するに、ポイントとしては2つありまして、まず1,640万番号、これは桁増しの議論がありますので、現時点では1,640万番号で、まだ余裕はある、容量8,000万に対してまだ余裕があるということ。音声につきましては、制度的な枠はつくったものの、まだここを使うという事業者はあらわれていないので、これは今後注視ということかと思えます。

以上です。

**【相田主査】** ありがとうございます。それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いしたいと思います。

新しい委員の方、お聞きになっているかとは思いますが、先ほどもありました020、1列分あるとしても、これから増えていくとそのうちまたここでも不足するだろうということですので、今のところ、ほかの0A0番号は全部で11桁ということになっておりますが、この020については準備が整った時点で、国際的に許されている最大の桁数である14桁まで増やすという条件のもとに使い始めるということになっています。その準備が整うのがいつなのかということについてはよくわからないのですが、そういうことで、今、何、これは左側から割り当てているのですか、右側から割り当てているのですか。

**【廣重番号企画室長】** 左ですね。この図でいえば左。

**【相田主査】** 0201、0202から割り当てていって、準備が整った時点でもって、後ろのほうの0207とか0208とか、どこかからは14桁で使ってもらおうと。それまで使っていた11桁をどうするかとかいうのは、またそのときに考えるということになるかと思えます。

この1ページで言っている設備改修とかいうのは、その桁増対応とかは入っていないの

ですよね。

【廣重番号企画室長】 それは入っておりません。単純にネットワークのことです。

【相田主査】 020が通るようにすると、桁数を増やすとなると、実際の電話をつなぐほうのシステムだけではなくて、これで例えばM2Mのセンサーを管理している管理システムのほうなどでも、電話番号フィールド欄というのが今、11桁しかないのを14桁に伸ばしてもらわなきゃいけないとか、等々、いろいろ影響があり得ると。特に第一種電気通信設備等をつないで、それと通話がつながり得るということになると、通常の電話のほうでも14桁の番号からの着信だということを識別したり、いろいろする機能をつけ加えなきゃいけない可能性があって、今回、そういうことで余分なコストはかけないほうがいいだろうとか、一種の副産物として第一種電気通信設備とつながないということにすれば、ユニバーサルサービスの負担金の対象外とできるということで、現在、月2円ですので、あまり大きなあれではないですけども、またそこも今後どうなるかわかりませんのでということで、将来的には桁増するぞという予告をしているということでございます。

【一井委員】 桁増を議論しなきゃいけないぐらいしっかり伸びてくれないと、せっかくつくったのにと。

【相田主査】 伸びてほしいですね。

【廣重番号企画室長】 大体、年間1,000万ぐらいのペースで今、番号というのは出ますので、それからするとそれほど意外感のある伸び方ではないと私は思いました。ただ、一方で、今、通信規格がかなり、乱立ではないですけども、ありまして、番号を使わない通信規格というものも当然ありますので、そういう規格がどこまで伸びるかというものの兼ね合いだと思います。その結果、番号を使わないネットワークも使うという前提で番号需要は今1,640万だと見えている状況です。これが将来的にはIoT向けのLTEシステムという新しい規格も今検討されておりますが、その場合は逆に、1デバイス1番号ということになるかもしれませんので、そうなりますと、またそれは需要増の要因になるかと思えます。

【猿渡委員】 確実に増えると思いますね。楽しみです。

【相田主査】 最終需要予測がどれぐらいかとかいうようなことで、幾つということにしてあるのでしたっけ。

【廣重番号企画室長】 制度を考えるとときに、4,200万という数字を出しました。

【相田主査】 二千何十年かでもって、本当に最後は2億とかいうのではなかったでし

ようか。

【廣重番号企画室長】 2020年に4,000万だったかと記憶しています。最終的には、最終需要は2億1,700万ですね。

【相田主査】 ですよ。その大部分が農業用センサー、それから河川等の何とかでしたかね。

【廣重番号企画室長】 河川の水位測定とかですね。

【相田主査】 そういうものということなのですが、先ほどもありました、必ずしもこういう電気通信番号、というか、E.164番号を使わないような携帯の通信方式になるのかもしれないですし、いわゆる携帯系の通信も人口カバー率では今、約99%となっていますけれども、そういう農業用の地域だとか河川地域とかいうのがどれだけカバーされているかというところ、まだまだあまり高くないというところで、ちょっと今後どうなるかはまだわからないところですね。

よろしゅうございますか。

では、順調にサービスが開始されるように、総務省といたしましても引き続きフォローしていただきますようお願いいたします。

#### 議題(4) その他

【相田主査】 以上で、事務局でご用意いただいた議題は済んだかと思っておりますけれども、構成員の皆様、あるいは事務局のほうから何か追加でご発言いただくようなことはございますでしょうか。

では、今後の予定等につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

【神田番号企画室課長補佐】 はい。次回の委員会の日程につきましては、意見募集の締め切り後の開催となります。別途日程調整等をさせていただきますので、よろしく願いします。

【相田主査】 先ほどのように、意見募集が7月24日締め切りということで、その後、その結果を整理する期間もやると夏休みに入ってしまうということで、8月の終わりぐらいですかね。

【廣重番号企画室長】 ご相談をさせていただきながら。

【相田主査】 ええ、ということで調整させていただければと思います。

ほかに、よろしゅうございますか。

では、ほかにございませんようでしたら、本日の電気通信番号委員会第7回会合はこれで閉会させていただきます。どうもありがとうございました。